

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/02	40774	伊藤ライフサイエンス株式会社	日局トロンビン	トロンボプラスチン	ブタ肺	デンマーク	製造工程	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス感染	ProMED, 20040520-0060 (Pork Magazine, 2004/05/18)	若いブタはウエストナイルウイルスへの感受性が高い可能性がある。
											口蹄疫	ProMED, 20040802-0010 (Xinhuanet com, 2004/07/30)	フィリピンの農場3ヶ所で口蹄疫が発生した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040821-0070 (Bloomberg.com 2004/08/20, Yahoo News 2004/08/20)	中国当局が初めてトリインフルエンザA型(H5N1)をブタで発見した。それに対するWHOとFAOからのコメント。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002~2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0080 (VOV news, Yahoo news, My way news)	ベトナム、マレーシア、タイ、中国における鳥インフルエンザの対応について。
											インフルエンザ	ProMED, 20040824-0020 (PNAS 101(28) 10452-10457, Channelnewsasia.com 2004/08/23)	中国の研究者が発表した論文に対し、中国の農業省は、ブタで鳥インフルエンザウイルスが確認されたとする報道を否定した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040825-0080 (Channelnewsasia 2004/08/24)	中国当局は、鳥インフルエンザウイルスの致死性株がブタで確認されているが、流行とはなっていないと発言した。
											インフルエンザ	ProMED, 20040825-0010, (The Kansas City Star, China Daily)	農業省は110万個体の家禽及びブタについて、病原体及び血清検査を実施した。トリインフルエンザウイルスに感染したブタは確認されなかった。
											インフルエンザ	ProMED, 20040827-0020 (CIDRAP News, WHO)	H5N1型鳥インフルエンザのブタへの感染は、中国語論文にのみ公表されていた。ヒト及びトリインフルエンザウイルスの一部がブタに適応し、ブタ集団中で感染が蔓延し始める可能性がある。
											インフルエンザ	Population and Public Health Branch, FluWhatch, weeks 33-34	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/08/23	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(34), 2004/08/24	ベトナムのH5N1の流行に関する調査の経過と、中国のH5N1型鳥インフルエンザについては詳細なデータが得られた時点でWHO,FAO,OIEが評価する。WHOは情報が少ないので評価が難しいため、H5N1を経験した国にさらなる研究を求めている。											

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	海外感染症情報, 2004, 6(34)	中国で発表されたブタでのH5N1型感染について概要。
											インフルエンザ	Herald Tribune, 2004/08/21	中国で発表されたブタでのH5N2型感染に対するコメント。
											インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(1), 38-44	E型肝炎ウイルスはインドネシアの風土病であると信じられてきたが、バリでは蔓延しており、これがブタを介した人畜共通感染症であることを示唆。
											E型肝炎	Emerging Infectious Disease, 10(5), 953-955	流布しているE型肝炎ウイルスの類似領域と100%一致するウイルスが、英国のブタから検出。先進国におけるE型肝炎ウイルス感染が人畜共通感染症である可能性を示唆。
											コレラ	ProMED, 20040917-0010	西チモールでニワトリがニューカッスル病により、ブタが豚コレラの疑いで大量に死亡した。
											炭疽	ProMED, 20041010-0010	イタリアで炭疽菌が分離され、ブタ症例が確認された。
2004/12/02	40775	伊藤ライフサイエンス株式会社	日局トロンピン	トロンピン	ウシ血液	ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン	有効成分	有り	無し	無し	口蹄疫	ProMED, 20040424-0020 (Xinhuanet news)	ザンビアで2004年2月に発生した口蹄疫の感染が広がっている。
											口蹄疫	ProMED, 20040713-0090 (Xinhuanet)	口蹄疫が疑われる流行がザンビアで発生し、1200頭が発病した。
											口蹄疫	ProMED, 20040903-0130 (Sapa-AFP via Mail&Guardian online)	ジンバブエで確認された口蹄疫流行は、全国各地に拡大して、家畜の8000頭が感染した。
											炭疽	ProMED, 20040428-0030	アルメニアで炭疽の流行が確認された。
											炭疽	ProMED, 20040511-0040 (Interfax)	グルジアで炭疽菌に汚染されたウシを食べた住民8名が罹患した。グルジアでは毎年家畜の炭疽感染が発生している。
											結核	ProMED, 20040525-0080 (South African Broadcasting Company)	EasternCapeで4カ所の牧場が隔離され300頭以上の結核に感染したウシを屠殺した。
											狂牛病	ProMED, 20040528-0120 (All Africa)	ケニアで狂牛病のイヌにおそわれ、住民6名と乳牛が死亡した。
											神経系障害	ProMED, 20040609-0080, (BBC News, Medical.net, Veterinary record)	英国で幼若なウシの麻痺や死亡の原因となる原因不明の脳障害の事例があった。非跳躍病ではない神経好性ウイルス感染症の特徴を有する化膿性壊死性灰白脳脊髄炎は、過去10年間に21例報告されている。エンテロウイルスが病因として可能性が高く、人の健康への驚異となる可能性は低い。
											口蹄疫、炭疽	ProMed, 20040612-0010 (新華社通信)	タンザニアのザンジバル諸島で口蹄疫と炭疽の流行が発生し、400頭以上が死亡。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											口蹄疫	ProMED, 20040618-0070 (ABC Adio Australia News)	カンボジアでウシ及びアジアスイギュウ2000頭以上が口蹄疫に感染した。
											狂犬病	ProMED, 20040621-0020 (Epidemiological Bulletin)	2004年はイヌの狂犬病が80例、ウシの狂犬病が2例報告された。
											炭疽	ProMED, 20040702-0070	ルーマニア東部で炭疽により男性2名が入院した。
											炭疽	ProMED, 20040703-0110, 20040710-0020, 20040710-0040, 20040715-0020	カザフスタン各地で起きた炭疽感染について。
											不明	ProMED, 20040709-0110 (All Africa)	ザンビアで約500頭のウシが原因不明の疾患で死亡した。
											結核	ProMED, 20040715-0030, 20040718-0050 (Gloucestershire the citizen, Farmers Weekly Interactive)	英国でのウシ型結核の流行について。
											口蹄疫	ProMED, 20040715-0100, 20040809-0060 (SABC news, OIE)	口蹄疫SAT2型が南アフリカで流行した。ウシ18,000頭が暴露され、2,500頭が発症した。
											炭疽	ProMED, 20040715-0040	イスラエルでウシ炭疽症例2例が確認された。
											炭疽	ProMED, 20040715-0130 (Australian Broadcasting Company, Phayul)	中国で男性1名がウシから炭疽に感染し死亡した。中国では毎年少数の炭疽症例が発生している。
											ブルセラ症	ProMED, 20040722-0040 (La Prensa)	パナマでウシブルセラ症が流行している。感染した60頭のうち27頭は処分された。
											炭疽	ProMED, 20040722-0150 (Xinhuanet, UB Post)	モンゴルでは2004年前半に20名が炭疽と診断された。
											狂犬病	ProMED, 20040722-0180, 20040803-0030 (The Messenger, OIE)	ゲルジアでウシの狂犬病が15例発生し、7名の狂犬病患者が発生した。
											ブルセラ症	ProMED, 20040726-0060 (AP電)	米国でウシのブルセラ症が発見されたため、牧草地の扱いに議論がなされている。
											炭疽	ProMED, 20040726-0100, 20040805-0020, 20040814-0050 (Interfax)	キルギスタンでウシ屠殺中に3名が炭疽菌に感染した。ウシは隣国のウズベキスタンから購入されたウシであった。キルギスタン南部では毎年複数の複数の患者が報告されている。
											炭疽	ProMED, 20040801-0030	アメリカの牧場で炭疽に感染したウシ8頭が死亡した。
											口蹄疫	Veterinary Journal, 168(1): 93-99	ボツワナでウシの口蹄疫が発生した。単離されたウイルスはSouthern African Territories type SAT-2だった。
											ブルセラ症	ProMED, 20040804-0080 (IRIN)	カザフスタンでブルセラ症患者数が増加しており、近隣国からの動物の密輸と関係している。
											炭疽	ProMED, 20040804-0100 (Avesta web site, Associated Press)	タジキスタンで汚染された牛肉を食べて7名が炭疽に罹患した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											炭疽	ProMED, 20040813-0050 (Regions.Ru)	グルジアで炭疽患者4名が入院した。3名は屠殺に関わり、1名は汚染された牛肉を購入していた。
											炭疽	ProMED, 20040813-0060, 20040830-0040	炭疽感染によりウシ、クーズー、オジロジカが各1頭死亡した。
											結核	ProMED, 20040819-0050 (The NewZealand Herald)	ニュージーランド国内において2013年までにウシ結核を7群以下に減少させたいとする希望は、新たな流行により後退している。
											結核	ProMED, 20040828-0040, 20040830-0030 (AFP, Yahoo News)	ウシ結核症がモザンビークで流行している。健康被害やウシの死亡は報告されていない。
											炭疽	ProMED, 20040903-0120 (Mosnews)	ロシアで炭疽患者10名が報告された。
											リフトバレー熱	ProMED, 20040920-0040 (The Saudi Gazette)	サウジアラビアでリフトバレー熱によりウシ4頭が死亡した。
											炭疽	ProMED, 20040924-0060 (SIFY News)	西ベンガル地方で炭疽に感染した牛肉を摂取した住民13名が炭疽に罹患し
											炭疽	ProMED, 20041001-0010 (The Free Press of Nambia, All Africa)	ボツワナで起きた炭疽流行がナミビアに拡大し、家畜数十頭が死亡した。
											炭疽	ProMED, 20041001-0020	イタリアで炭疽事例が多発し、ウシ54頭、ウマ7頭、ヒツジ11頭、アシカ4頭の症例が確認された。獣医師2名が皮膚炭疽症を発症した。
											不明	ProMED, 20041004-0050 (Angola Press)	アンゴラでウシが原因不明の疾患で死亡した。詳細不明。
2004/12/02	40776	日本赤十字社	解凍人赤血球濃厚液	解凍人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	Cambridge Healthtech Institute 2004	Pallフィルター・シリーズ(Pall Co.)はPrPscを99%以上除去する。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Proceedings of National Academy of Sciences of the USA, 2004, 101(9): 3065-3070	イタリアでBSEと診断されたウシのうち、2頭において従来のPrPscとは異なる特徴を示した。プロテアーゼ耐性プリオン蛋白質が認められ、生化学的にも病理学的にもsporadicCJDの所見と類似していた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004. 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイパーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁桃標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイビー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSeprionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD、BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイビーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD、vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014)についてのコメント。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることが示唆される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc. 2004/08/03	PRDT社は赤血球製剤のプリオン除去フィルターを2005年までに上市することを目標としている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 529-531, 2004/08/27	スクレイバーを感染させたハムスターから採血し、プールした全血450mlから市販のフィルターを用いて白血球除去した。白血球数は2.9log低下し、TSE感染因子総量の42%除去した。白血球除去フィルターは白血球由来の感染を防ぐには十分ではない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイバー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス	aaBB the Executive Perspective, 2004.3	2003年7月からWNV-NAT検査を400万人の供血者に対して実施し、1000人のWNN陽性供血者を検出した。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日~11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	The New England Journal of Medicine, 2004, 350(12), 1179-1188	ベトナムのトリインフルエンザ患者10症例の臨床所見等について。家禽類から感染したと考えられ、ヒト間の感染についての知見は得られていないが、可能性がある。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											リ्यूシマニア症	Journal of Infectious Disease, 2004, 189(6), 1018-1023	リ्यूシマニアに特異的なDNAが患者32人中30人の瘰癧で検出された。臨床的に治癒しても、パラサイトが完全に除去されることはまれであることを示唆する。
											リ्यूシマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リ्यूシマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた6歳の少年が、輸血によるリ्यूシマニア感染症の疑いがあると診断された。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medicinal Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O、2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											アメリカ・トリパノソーマ症(シヤーガス病)	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
											野兎病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	プレーリードッグからヒトへ野兎病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
											レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
											ウイルス感染	Virus Research, 2004, 100(2), 223-228	日本の小児における調査で、SENV-D,SENV-Hとも急性あるいは慢性肝炎には関与しなかったが、SENV-Dは劇症肝炎の危険因子になり得ることが示唆された。
											発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Rural Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。
											クラミア症	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミア抗原陽性反応を確認した。
											ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間にチャンディブラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
2004/12/02	40777	興和株式会社	ウロキナーゼ	精製ゼラチン	ウシの骨、ブタの皮	ウシの骨(インド)、ブタの皮(日本)	添加物	無し	無し	無し			
2004/12/02	40778	興和株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	人尿	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/06	40779	エーザイ株式会社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗モンテブラーゼモノクローナル抗体	マウス腹水	日本	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
2004/12/06	40780	エーザイ株式会社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ胎児血清	米国、オーストラリア、ニュージーランド、コスタリカ、ニカラグア、エルサルバドル、パナマ	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
											神経系障害	ProMED, 20040610-0010, 20040612-0060 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/06	40781	エーザイ株式会社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	プラスミン	ウシ血清	ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
											神経系障害	ProMED, 20040610-0010, 20040612-0060 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/06	40782	エーザイ株式会社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	遺伝子組換え細胞	ペビーハムスターの腎臓	10数年前に樹立したマスターバンクに使用した細胞株のため原産国不明	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
2004/12/06	40783	エーザイ株式会社	モンテブラーゼ(遺伝子組換え)	抗不純蛋白質抗体	ウサギ血清	日本	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVTV)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマラリア様疾患で30名が死亡した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
2004/12/06	40784	エーザイ株式会社	モンテプラージェ(遺伝子組換え)	トリブシン	ブタ膀胱	米国	製造工程	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVT)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。
											神経系障害	ProMED, 20040610-0010, 20040612-0060 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(35), 2004/08/31	ブタが遺伝子再集合の場となっている可能性はあるが、まだよくわかっていない。WHOはH5N1および他のインフルエンザウイルスについて研究を奨励している。
2004/12/06	40785	エーザイ株式会社	ヘパカリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタの腸粘膜	米国、カナダ	有効成分	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED, 20040514-0110 (East African Standard)	原因不明の疾患で、ケニアで少なくとも20名の小児が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040609-0020 (The Hindustani Times online)	西ベンガル地方で、小児約200名が発熱し、8名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040623-0030, 20040624-0020 (Diario de Sao Paolo, EVT)	ブラジルで原因不明の疾患で3名が死亡、9名が治療を受けた。
											ウイルス感染	ProMED, 20040713-0080 (Pak Tribune)	パキスタンで住民数十名がヤギから口蹄疫に感染し死亡したと報道された。
											ウイルス感染	ProMED, 20040722-0050 (Australian Broadcasting Company)	バブアニューギニアで原因不明のマリア様疾患で30名が死亡した。
											ウイルス感染	ProMED, 20040925-0080 (Fiji Times)	フィジーで原因不明のインフルエンザ様疾患が流行している。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											神経系障害	ProMED, 20040610-0010, 20040612-0060 (BBC News, Veterinary laboratories Agency, Veterinary Record)	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
											インフルエンザ	SCIEH Weekly Report, 2004, 38(35), 2004/08/31	ブタが遺伝子再集合の場となっている可能性はあるが、まだよくわかっていない。WHOはH5N1および他のインフルエンザウイルスについて研究を奨励している。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
2004/12/10	40786	日本シエーリング株式会社	ヘパリンカルシウム	ヘパリンカルシウム	ブタ腸粘膜	中国	有効成分	有り	無し	無し	ウエストナイルウイルス感染	ProMED, 20040520-0060 (Pork Magazine, 2004/05/18)	若いブタはウエストナイルウイルスへの感受性が高い可能性がある。
											インフルエンザ	ProMED, 20040822-0070 (Chinese Journal of Preventive Veterinary Medicine, 2004, 26(1))	2002~2003年の間にブタから採取された血清検体1936件から、H9N2、H5N1型鳥インフルエンザが確認された。
											大腸菌性胃腸炎	ProMED, 20040914-2564 (Orangeville the Banner)	ブタロースト大会の参加者で0157に感染した患者がいるが、感染源は調査では特定されていない。
2004/12/14	40787	日本赤十字社	抗HBs人免疫グロブリン	抗HBs人免疫グロブリン	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイビーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁頭標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 (について))
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイビー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June (について))

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSeprionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD、BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイビーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD、vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることが示唆される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイビー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 529-531, 2004/08/27	スクレイビーを感染させたハムスターから採血し、ブールした全血450mlから市販のフィルターを用いて白血球除去した。白血球数は2.9log低下し、TSE感染因子総量の42%除去した。白血球除去フィルターは白血球由来の感染を防ぐには十分ではない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイビー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日~11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medical Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O、2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者における occult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Runal Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間にチャンディブラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004,39(6), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
2004/12/15	40788	富士製薬工業株式会社	下垂体制性腺刺激ホルモン	下垂体制性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/15	40789	富士製薬工業株式会社	下垂体性性腺刺激ホルモン	精製下垂体性性腺刺激ホルモン	更年期婦人の尿抽出物	中国	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/15	40790	ワイス株式会社	ポルフィマーナトリウム	ポルフィマーナトリウム	ブタ血液	オランダ	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/16	40791	株式会社ベネシス	ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン 乾燥抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風抗毒素	人血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9ヶ所のうち、5ヶ所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2); 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有のBabesia microti様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
											ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により脾臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか不明でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフエレーンスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVIに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文画製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。
2004/12/16	40792	株式会社ベネシス	ウロキナーゼ注射剤 ナサルプラーゼ(細胞培養)	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	有り	無し	無し	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004, 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2), 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有の Babesia microti 様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
											ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起している新種のアルポウイルスが分離された (Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により隣臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか不明でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレーシドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子 (PRNP) のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVIに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文画製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。
2004/12/16	40793	株式会社ベネシス	ナサルプラゼ(細胞培養)	ナサルプラゼ(細胞培養)	人腎細胞	日本	有効成分	有り	無し	無し	重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004, 203(2), 622-630	SARSで死亡した患者の、各組織からSARS CoVを検出した。呼吸器系だけでなく、汗腺や消化器からも検出されたので、糞尿、汗を介して伝播する可能性がある。
											重症急性呼吸器症候群	Journal of Pathology, 2004; 203: 631-637	SARSの機能的受容体として知られるACE2のmRNAはすべての臓器に存在するが、肺と腸に多く存在することが分かった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 10(6), 2004	CWDに感染したシカがいた牧場9箇所のうち、5箇所で約2年後に感染が起きた。間接的伝播と感染減のプリオンの環境への残留はCWDや他のプリオン起因病の制御を難しくさせるだろう。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											バベシア症	日本輸血学会雑誌, 50(2); 203, 2004	1999年に起きた輸血によるバベシア症感染の事例について。また、日本固有の Babesia microti 様原虫が存在し、不顕性感染者もいることが判明しつつある。
											ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された (Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により隣臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうかが明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子 (PRNP) のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVIに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文画製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。
2004/12/16	40794	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	マウスモノクローナル抗体	マウス腹水	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/16	40795	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ヒト血清アルブミン	ヒト血清	スイス	添加物	無し	無し	無し			
2004/12/16	40796	中外製薬株式会社	インターフェロンアルファ-2a(遺伝子組換え)	ペプトン	ウシ乳	オーストラリア	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/16	40797	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無し	無し	無し			
2004/12/16	40798	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第XIII因子	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	不明(未販売)	製造工程	有り	無し	無し	E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血感染事例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/16	40799	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	人血清アルブミン	ヒト血液	米国	添加物	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。
2004/12/16	40800	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	トロンピン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。
2004/12/16	40801	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	血液凝固第ⅩⅢ因子	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。
2004/12/16	40802	日本臓器製薬株式会社	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子	人フィブリノゲン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	YOMIURI online, 2004/11/28	厚生労働省などは国内で報告されたE型肝炎の輸血管戦時例について、献血者の感染源を調査した結果、ブタ肝臓などの内臓の摂取によるものとほぼ断定した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/20	40803	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 乾燥弱毒生風しんワクチン	人血清アルブミン	ヒト血液	日本	添加物・製造工程	有り	無し	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											重症急性性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
											重症急性性呼吸器症候群	Nature Medicine,10(4), 368-373, 2004/04/01	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
2004/12/22	40804	日本赤十字社	人全血液	人全血液	人血液	日本	有効成分	有り	無し	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイビーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁桃標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイビー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSepriionによるマイクロプレートを用いた免疫アッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD, BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイビーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD, vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうる事が示唆される。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc., press release, 2004/08/03	血液及び血液由来製剤から選択的に病原体を吸着し除去するフィルター製品の上市を計画している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 529-531	スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染性は42%の低下にとどまった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/10/24	アイルランドでvCJDに感染したと見られる20代男性について確認検査が行われている。輸血歴・渡航歴はない。アイルランドでは1例目。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											リユーシュマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リユーシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた6歳の少年が、輸血によるリユーシュマニア感染症の疑いがあると診断された。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人献血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medicinal Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O、2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者における occult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											B型肝炎	ABC Newsletter, 2004/10/22	FDA血液製剤諮問委員会は、HBc抗体陽性者に対し、新たな検査方法を加え献血者のリエントリーを可能とするよう勧告した。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											アメリカ・トリパノソーマ症	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
											野兔病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	プレーリードッグからヒトへ野兔病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
											レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
											発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Rural Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クラミジア症	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミジア抗原陽性反応を確認した。
											ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。
											ウイルス感染	Transfusion, 2004, 44(s1), 16A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリボフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である。
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディブラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004,39(6), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
											細菌感染	Journal of Clinical Microbiology, 2004, 42(10), 4759-4764	血小板製剤中に存在する最近を検出するため、23SrRNAまたはgroEL遺伝子を利用したreal-time RT-PCR法が開発された。
											細菌感染	日本輸血学会誌, 2004, 50(5), 726-729	敗血症性ショックを呈した7ヶ月男児の血液および血小板製剤からM.morganiiが検出され、輸血後感染が示唆された。
2004/12/22	40805	日本赤十字社	人赤血球濃厚液	人赤血球濃厚液	人血液	日本	有効成分	有り	有り	有り	クロイツフェルト・ヤコブ病	aaBB Weekly Report 2004, 10(14), 9, 2004/4/9	Mimetic Regand技術に基づいたフィルターでvCJD感染血液を処理したところ、in vitroでは検出限界まで感染性プリオンタンパクは除去され、in vitroでは感染レベルの有意な低下が見られた。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040410-0010, 2004/4/9 (NewScientist.com, 2004/4/8)	英国環境食糧農村地域省から非典型のスクレイビーが報告された。牛に比べてプリオンが筋中(可食部)に多く、免疫学的試験の結果はBSEとの類似を示した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Emerging Infectious Diseases, 2004, 10(6), 977-984	アメリカにおいてCWDがこれまで報告されていなかった地域において、新たにCWDの発生が確認された。いくつかの疫学調査の結果があるものの、CWDとCJDの関係を示す証拠に欠けているが、注意が必要。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/5/21	英国人の12,674人を対象とした虫垂及び扁頭標本の病理検査を実施したところ、3人にプリオンの蓄積を認めた。この結果、英国全体では、3,800人がvCJDの潜伏期にある可能性が示唆された。(Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739 について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040526-0040, 2004/5/24 (NY times, Alaska Fisherman's Journal)	スクレイピー感染ヒツジの筋肉で、異常プリオンが羊組織中の5000分の1程度の濃度で検出された。(Nature Medicine, 10(6), 591-593, 2004 June について)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Oral-21	PrPSc特異的リガンドであるSepriionによるマイクロプレートを用いたイムノアッセイ法は、感度・特異性とも優れており、米国農務省からCWD, BSEに対する使用が承認されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, A-21	羊スクレイピーの経胎盤による子羊への母子感染が確認された。子羊は短期間の潜伏期間(7ヶ月)で発症した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	First International Conference of The Network of Excellence NeuroPrion, 2004, May 24-27, Dia-17	英国人のsCJD, vCJD筋肉検体をスクリーニングしたところ、サブタイプMV1型sCJD患者1例でPrPScの存在が確認された。神経外組織におけるPrPScの蓄積は罹患期間と相関する可能性がある。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040615-0060, 2004/6/14 (OIE)	OIEが加盟国をBSE発生状況により5つのカテゴリーに分類した結果、BSEの発生していない国・地域に分類された国は無かった。(規約2.3.13.3~7の紹介)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/6/25	米国赤十字は現在の供血禁止規制を緩和し、1980年1月1日から1996年12月31日までの間に合計3ヶ月以上にわたって英国に滞在したヒトからの供血を禁止することを提案。2005年中に承認される予定。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004/7/2	BASEだけが新しいタイプのBSE株というわけではない。BASEはsCJDと似た点がある。(Lancet, 363, 2013-2014についてのコメント)。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science, 305, 673-676, 04/07/30	人工的なプリオンの合成に成功し、そのプリオンをマウスの脳に投与したところとBSEと同様の症状を示した。タンパクだけでも感染症の原因となりうることが示唆される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMetic Life Sciences Inc., press release, 2004/08/03	血液及びび血液由来製剤から選択的に病原体を吸着し除去するフィルター製品の上市を計画している。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 529-531	スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染性は42%の低下にとどまった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of General Virology, 2003, 85, 2727-2733	アミノ酸部位136,154,173でアラニン、アルギニン、アルギニンをエンコードする対立遺伝子のホモ接合を持つヒツジはスクレイピー抵抗性と考えられていたが、2頭のヒツジよりプリオン蓄積が確認された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Story from BBC News, 2004/10/24	アイルランドでvCJDに感染したと見られる20代男性について確認検査が行われている。輸血歴・渡航歴はない。アイルランドでは1例目。
											ウエストナイルウイルス	aaBB Association Bulletin, 2004/4/15	2003年にWNV-NAT検査が供血者860万人に対して実施され1000人の陽性血が確定し、輸血による6例のWNV感染が確認された。
											ウエストナイルウイルス	UK National Blood Service, 2004.4	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日~11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を採用した。アメリカから輸入されるFFPはメチレンブルーで処理されている。
											ウエストナイルウイルス	Transfusion, 2004, 44(6), 886-890	FFPにおけるメチレンブルーを用いた光処理では、WNVを5.75log不活化することが確認された。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											インフルエンザ	Science, 2004, 306, 241	インフルエンザA型ウイルスに体制があると考えられていたネコにH5N1型が感染することが示された。またH3N2型は感染が成立しなかった。
											リユーシュマニア症	Transfusion of Medicine, 2004, 14(4), 319-321	リユーシュマニア症の流行国であるインドにおいて、2~3年間で6回の血小板輸血を受けた6歳の少年が、輸血によるリユーシュマニア感染症の疑いがあると診断された。
											HIV	Institute of Human Virology, 410-706-4616, 2004/6/15	ELISA法とPCR法を組み合わせた方法により高感度で短時間にHIVp24抗原を検出できる新たな検査法が開発された。
											HIV	Vox Sang, 2004, 87(1), 44-45	HIV-1グループOに感染したドイツ人供血者の血液は、HIV-NAT (HIV-1サブグループM対応)では検出できなかった。
											HIV、C型肝炎	The New English Journal of Medicine, 2004, 351(8), 760-768	ミニプールNATの導入により、血清学的検査陰性血液から年間平均HIV-1が5件、HCVが56件検出され、感染を防ぐのに役立っている。
											B型肝炎、C型肝炎	Journal of Medicinal Virology, 2004, 74(2), 216-220	イタリアの急性HBV感染の約15%、急性HCV感染の約11.5%は理容室のひげ剃りやピアス、フットケア等の美容業界における感染である。
											B型肝炎、C型肝炎、HIV感染、細菌感染	第52回日本輸血学会総会、P19-O, 2004.6	2003年において報告された輸血感染症は、HBV82例、HCV55例、HIV例、その他ウイルス6例、細菌61例であった。HBV感染例には、NATウインドウ期及びごく微量のウイルスのキャリアからの感染が考えられる症例が報告された。
											B型肝炎	Hepatology, 2004,40(5), 1072-1077	カナダの血液透析センターにおいて血液透析を受けている成人患者におけるoccult HBV有病率は、標準的なHBsAg検査が示唆するよりも約4~5倍高い。またウイルス量が少なく、sG145R変異体の保有率が高い。
											B型肝炎	ABC Newsletter, 2004/10/22	FDA血液製剤諮問委員会は、HBc抗体陽性者に対し、新たな検査方法を加え供血者のリエントリーを可能とするよう勧告した。
											C型肝炎	臨床血液, 2004, 45(8) 280	NAT導入後に、輸血用製剤によってC型肝炎に感染したと疑われる症例1例。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	第52回日本輸血学会総会、P17-O、2004.6	北海道で献血された陰性の検体のうち、ALT値500IU/L以上の47検体に対する調査で、非B非C型肝炎ウイルスの輸血感染リスクの低減にALT検査が有効であることが、確認された。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 73(4), 554-561, 2004	日本人献血者5343名におけるHEV-IgG抗体の陽性率は3.7%であり、この中にはHEV-RNAおよびHEV-IgM抗体陽性者が3名含まれていたが、いずれもALTが検査基準を超えていた。HEV在来種JRA1に対して約90%の高い相同性を示した。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
											アメリカトリパノソーマ症	第73回日本寄生虫学会大会II-C-37	ラテンアメリカからの日系就労者のうち、南米の風土病であるChagas病の疑い例について最近5年間当教室において調査したところ14例中11例がTrypanosoma cruziのIgG抗体が陽性であった。PCR法にてT.cruzi-DNAを検出した例もあった。
											野兔病	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 483-486	プレーリードッグからヒトへ野兔病が感染することについて、初めて科学的根拠が示された。
											レプトスピラ症	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(3), 406-412	カリフォルニア州で汚染された水に接した健康人に発症したレプトスピラ症(5症例)についての考察。
											発疹熱	Emerging Infectious Disease, 2004, 10(5), 964-965	日本で発疹熱が血清学的診断により確定された。近年のクロネズミの増加から本症例が再興している可能性がある。
											ヘルペスウイルス感染	The 20th Annual Clinical Virology Symposium, T47, 2004.4	HHV-8が輸血を介して感染する可能性を検証した結果、3名の患者に抗体陽転を確認し、輸血を受けなかった患者71名では陽転は見られなかった。
											ウイルス感染	Department for Environment Food and Runal Affairs News, 2004/6/8	脚部に一部麻痺を呈している未産の雌牛が報告され、脳内にウイルス感染病変を認めているが、TSE病変は示していない。英国において調査中である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											狂犬病	CDC Press Release, 2004/7/1	共通のドナーから臓器を提供された3名の患者が狂犬病に感染した。臓器移植による狂犬病感染の最初の症例である。
											クラミア症	Transfusion, 2004, 44(7), 1072-1078	調査施設で募った健康人70名における末梢血単核球について、拡散検査および免疫染色で検査したところ13名で肺クラミア抗原陽性反応を確認した。
											ウイルス感染	Blood, 2004, 105(5), 1534-1541	合成ソラレン誘導体アモトサレンを用いて光化学処理された血小板製剤の臨床試験の結果、処理群は未処理群に比べ出血傾向の是正には有意差が認められなかったが、血小板増加数低下、血小板輸血間隔短縮及び血小板輸血回数増加が認められた。
											ウイルス感染	Transfusion, 2004, 44(s1), 16A, S47-0301	感染性不活化技術の一つリボフラビンで処理された血小板製剤は、未処理製剤に比べ代謝亢進や回収率低下、体内生存期間短縮が認められたが、臨床的には有用である。
											ウイルス感染	The Lancet, 2004, 364, 869-874	インドで2003年に小児の間でチャンディブラウイルスの急性脳炎の大流行が報告された。329例中183例が死亡し、塩基配列は1965年の株と96.7~97.5%の高い相同性を示した。
											デング熱ウイルス	Clinical Infectious Disease, 2004,39(6), e56-60	デング熱患者の血液飛沫を顔面に受けた医療従事者が、ウイルスに感染した。蚊を媒介とせず、皮膚粘膜を介して伝播したと考えられる最初の症例。
											細菌感染	Journal of Clinical Microbiology, 2004, 42(10), 4759-4764	血小板製剤中に存在する最近を検出するため、23SrRNAまたはgroEL遺伝子を利用したreal-time RT-PCR法が開発された。
											細菌感染	日本輸血学会誌, 2004, 50(5), 726-729	敗血症性ショックを呈した7ヶ月男児の血液および血小板製剤からM.morganiiが検出され、輸血後感染が示唆された。
2004/12/21	40806	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラーゼ(遺伝子組換え)	ポリゼリン	ウシ骨抽出物	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/21	40807	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ胎仔血液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/21	40808	ジェンザイム・ジャパン株式会社	イミグルセラーゼ(遺伝子組換え)	ドナー仔牛血清	ドナー仔牛血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/22	40809	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射液	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/22	40810	三菱ウェルファーマ株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)注射液	ウシ胎児血清	ウシ血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	原因不明の脳症	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, 154(24))	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/22	40811	協和発酵工業株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)	ウシ胎仔血清	ウシの血液	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	原因不明の脳症	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, 154(24))	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/22	40812	協和発酵工業株式会社	アルテプラゼ(遺伝子組換え)	チャイニーズハムスター卵巣細胞	チャイニーズハムスター卵巣	米国	製造工程	有り	無し	無し	原因不明の脳症	ProMED, 20040612-0060 (Veterinary laboratories Agency, The Veterinary Record, 154(24))	イギリス及びウェールズで牛のボツリヌス中毒と疑われる症例を認めていたが、ボツリヌスではなく原因不明の新たな疾患(四肢麻痺)であると、イギリス獣医学研究所は考えている。
2004/12/27	40813	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人免疫グロブリンG	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
2004/12/27	40814	バクスター株式会社	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/27	40815	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	ヒト凝固性たん白質(フィブリノゲン加第Ⅷ因子)	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hetatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
2004/12/27	40816	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	トロンビン	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hetatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
2004/12/27	40817	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	製造工程	無し	有り	無し			
2004/12/27	40818	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、米国又はニュージーランド	有効成分・添加物	無し	無し	無し			
2004/12/27	40819	バクスター株式会社	フィブリノゲン加第Ⅷ因子	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hetatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/27	40820	日立化成工業株式会社	ウロキナーゼ	ウロキナーゼ	ヒト尿	中国	有効成分	有り	無し	無し	B型肝炎	第62回日本公衆衛生学会総会, P13-048	B型肝炎キャリアの保育士から、日常の保育行為、接触を介して園児へ感染した。
											ウイルス性上気道感染	日本小児科学会雑誌, 2004, 108(3), 390-394	急性呼吸器感染症と診断された患者835件の検体からウイルスを分離し、ウイルス分離陰性だった521検体から無作為に選んだ238検体のうち22検体からPCRにより、human metapneumovirusを検出した。
											ウイルス性上気道感染	感染症学雑誌, 2004, vol78(2), 129-137	広島県の小児の急性呼吸器感染症の患者377名のうち77名がhuman metapneumovirus(hMPV)陽性で、2つの遺伝子型に区別された。
											咽頭結膜炎	Infection Diseases Weekly Report Japan, 2004, 22	咽頭結膜熱の一定点あたりの報告数は0.56件であり、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。
											マイコプラズマ性肺炎	Infection Diseases Weekly Report Japan, 2004, 26,27,28,29	マイコプラズマ肺炎の一定点あたりの報告数は0.27件であり、過去6年間の同時期と比較してかなり多い。
											インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Clinical Investigation, 113(10), 1465-1472	ハムスターにスクレイピータンパクを1回摂取させ、啓示的に筋肉への蓄積を調べたところ、症状が発現する前の摂取後130日目に筋肉にプリオンタンパクが確認された。筋肉への広がりは運動神経を介していると思われる。
クロイツフェルト・ヤコブ病	Nature Medicine, 2004, 10(6), 591-593	フランスの研究グループによると、スクレイピーに罹患したヒツジの筋細胞中に異常プリオンタンパクが少量であるが蓄積する。異常プリオンの筋肉への蓄積は、食用肉の家畜では初めてである。											
2004/12/27	40821	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ラードウォーター	ブタ	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/27	40822	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	パングレアチン	ブタの膵臓由来	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/27	40823	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプシン	ブタの胃液	米国、カナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2004/12/28	40832	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンピン	ウシの血液	ニュージーランド、米国、オーストラリア	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞, 2004/11/01	動物衛生研究所は3月に北海道で見つかったBSE感染牛の末梢神経と副腎から異常プリオンを検出した。この感染牛の肉はすべて廃棄された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2004/12/28	40833	富士製薬工業株式会社	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ又はブタの肺	ウシ:ニュージーランド、ブタ:デンマーク	製造工程	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	日本経済新聞, 2004/11/01	動物衛生研究所は3月に北海道で見つかったBSE感染牛の末梢神経と副腎から異常プリオンを検出した。この感染牛の肉はすべて廃棄された。
2005/01/06	40824	株式会社科薬	トロンピン	トロンボプラスチン	ウシ肺	オーストラリア、米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/06	40825	株式会社科薬	トロンピン	トロンピン	ウシ血液	オーストラリア、米国	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40826	鳥居薬品株式会社	アレルギー治療エキス	アレルギーエキス	Candida albicans		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40827	鳥居薬品株式会社	アレルギー治療エキス	アレルギーエキス	Penicillium luteum		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40828	鳥居薬品株式会社	アレルギー治療エキス	アレルギーエキス	Aspergillus fumigatus		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40829	鳥居薬品株式会社	アレルギー治療エキス	アレルギーエキス	Alternaria kikuchiana		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/06	40830	鳥居薬品株式会社	アレルギー治療エキス	アレルギーエキス	Cladosporium cladosporioides		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/07	40831	株式会社ベネシス	人ハプトグロビン	人ハプトグロビン	人血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	ウイルス感染	ProMED-mail, 20040709,1842 (Viet Nam News Agency, 2004/7/7)	ベトナムで小児に急性脳症を起こしている新種のアルボウイルスが分離された(Nam Dinh virus)。蚊によって媒介される。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により隣臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血を受けたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか明瞭でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレーシスドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 364, 527-529, 2004/08/27 (AABB Weekly Report, 10(27),04/07/23)	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	HHS, FDA/ 80th meeting of Blood Products Advisory Committee, 2004/07/23	血液製剤諮問委員会(BPAC)においてCBERからWNVIに関するプレゼンテーションがあった。供血停止期間を56日に延長することが検討されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	DNV Consulting UK, 2003Feb	英国保健省が2004年9月に、vCJDを発症した患者からの血漿文画製剤を投与されたレシピエントへの通知を行ったことに関して、2003年2月のNet Norske Veritas(DNV)が行ったリスク評価の結果が根拠となっている。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	BBC News, 2004/11/10	アイルランドで見つかった症例は1例目のvCJD症例と確定された。輸血歴・渡航歴はない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Science express, 2004/11/11	BSE由来プリオンでのヒトへの1次及び2次感染は、プリオンソース及びレシピエントの遺伝型の如何により弧発性及び変異型に加え、新規の表現型をもたらす可能性がある。
2005/01/12	40834	株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	テカネチウム大凝集人血清アルブミン	テカネチウム大凝集人血清アルブミン	ヒト血液	米国	有効成分	有り	無し	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。
											重症急性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(32); 738-739, 2004.08.20	ジョージア州でWNVに感染した患者2名は同じ透析機を用いており、同じ透析機を使用した患者はもう一人いることが分かったが、この患者は検査結果は疑わしかったがWNVと確定できなかった。
2005/01/14	40835	泉工医科工業株式会社	模型人工肺	ペパリン	ブタ小腸粘膜	米国	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	OIE Press releases, 2004/09/01	OIEの要請に応じて、中国で発表されたブタでのH5N1型感染について研究者がデータを提供した。
											口蹄疫	OIE Disease Information, 17(38), 2004/09/17	ブラジルで口蹄疫ウイルスC型が1件発生したが、牛(疑い例34例)、ブタ(疑い例1例)の中で、感染源を調査中。
2005/01/18	40836	清水製薬株式会社	イソフェンインスリン水性懸濁注射液 インスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なウシの膵臓	アメリカ、カナダ	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/18	40837	清水製薬株式会社	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム注射液	健康なブタの腸粘膜	ブラジル	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 34	ブタはヒト及びトリのインフルエンザウイルスに感染しうる。中国のブタがトリインフルエンザH5N1型に感染したとの報告があるが、広範囲に広がっているかどうかは不明である。
											E型肝炎	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 47	2002年から2003年にかけては増加がみられたが、2004年は2003年とほぼ同数である。
2005/01/18	40838	清水製薬株式会社	イソフェンインスリン水性懸濁注射液 インスリン亜鉛水性懸濁注射液 インスリン亜鉛水性懸濁注射液	インスリン	健康なブタの膵臓	オランダ、フランス	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 34	ブタはヒト及びトリのインフルエンザウイルスに感染しうる。中国のブタがトリインフルエンザH5N1型に感染したとの報告があるが、広範囲に広がっているかどうかは不明である。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Infectious Diseases Weekly Report Japan, 2004, 47	2002年から2003年にかけては増加がみられたが、2004年は2003年とほぼ同数である。
2005/01/19	40839	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥スルホ化人免疫グロブリン	スルホ化人免疫グロブリンG	ヒト血液	ペニロン:米国、ペニロン-I:日本	有効成分	有り	有り	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											重症急性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004; 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
											重症急性呼吸器症候群	Nature Medicine,10(4), 368-373, 2004/04/01	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	67歳日本人男性がFFP輸血によりE型肝炎に感染したことが、PCRの結果から示唆された。
2005/01/20	40840	三菱ウェルファーマ株式会社	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン	ウシ血清	ウシ血液	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/20	40841	三菱ウェルファーマ	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン	ウマ免疫グロブリン	ウマ血液	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/20	40842	三菱ウェルファーマ株式会社	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン	ヒト赤血球	ヒト血液	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/20	40843	三菱ウェルファーマ株式会社	乾燥抗ヒトリンパ球ウマ免疫グロブリン	ヒトの培養リンパ球	ヒト血液	ケニア	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/21	40844	山之内製薬株式会社	パミテブラーゼ(遺伝子組換え)	CHO細胞	チャイニーズハムスター卵巣細胞		製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/01/21	40845	山之内製薬株式会社	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	炭疽	ProMED, 20040715-0130 (Phayul.com, Australian Broadcasting Company)	中国で男性が汚染された牛肉を食べて炭疽に罹患し、死亡した。この男性と接触した35名が隔離されている。
											炭疽	ProMED, 20040925-0100 (Times of Zambia)	ザンビアで炭疽により4人が死亡、18人が入院、ウシ20頭が感染した。
2005/01/21	40846	山之内製薬株式会社	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	炭疽	ProMED, 20040715-0130 (Phayul.com, Australian Broadcasting Company)	中国で男性が汚染された牛肉を食べて炭疽に罹患し、死亡した。この男性と接触した35名が隔離されている。
											炭疽	ProMED, 20040925-0100 (Times of Zambia)	ザンビアで炭疽により4人が死亡、18人が入院、ウシ20頭が感染した。
2005/01/21	40847	山之内製薬株式会社	パミテプラーゼ(遺伝子組換え)	インスリン	ウシ膵臓	オーストラリア、カナダ、ニュージーランド、米国	製造工程	有り	無し	無し	炭疽	ProMED, 20040715-0130 (Phayul.com, Australian Broadcasting Company)	中国で男性が汚染された牛肉を食べて炭疽に罹患し、死亡した。この男性と接触した35名が隔離されている。
											炭疽	ProMED, 20040925-0100 (Times of Zambia)	ザンビアで炭疽により4人が死亡、18人が入院、ウシ20頭が感染した。
2004/01/21	40848	日本製薬株式会社	乾燥人血液凝固第Ⅸ因子複合体	血液凝固第Ⅸ因子複合体	人血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 2004: 10(21), 3	ヒト血液中の異常プリオンタンパクを検出できる検査法を開発したと、研究者が発表した。
											HIV	オーストラリア連邦官報, GN 16, 2004/04/21	全血及び血液成分を採取・製造にあたって、HIV-1及びHCVがNAT陰性であること、Council of Europeのガイドライン第9版(2003.Jan)を遵守することが要求されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Eurosurveillance Weekly, 2004, 8(20), 2004/05/13	2004年の第一四半期において、英国で報告されたvCJDによる死亡は1例のみだった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											HIV	Transfusion, 2004, 44(6), 929-933	米国における、ミニプールNAT実施後2例目のウインドウ期間中の献血者からのHIV伝播の報告。18歳のドナーから2人に感染した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EMA/CPMP/BWP/2879/02/rev1, June 23 2004	2004年1月の会議結果を反映させた、CPMP Position statement on Creutzfeldt-Jakob Disease and Plasma-Derived and Urine-Derived Medicinal Products (2003年2月通知)の修正版。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											ウエストナイルウイルス	AABB Weekly Report, 2004, 10(26), 12	英国は、WNVリスク地域(米国、カナダ)へリスク期間(6月1日～11月30日)に渡航歴がある人に対して、28日間の供血延期措置を行っていたが、献血血液のWNV検査を導入し、これを撤廃した。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0270, 2004/07/22	vCJDを発症したドナーからの輸血を介しての2例目のvCJD伝播が確認された。輸血を受けた患者の検死により隣臓にvCJD病原体が確認された。(2004年4月5日から1980年1月以降に輸血をうけたヒトは血液ドナーから除くことになっている。輸血を受けたどうか明確でないドナーと、輸血を受けたことのあるアフレーシドナーの排除を2004年8月2日から施行する。)
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 529-531	スクレイピー感染したハムスターから採取した全血について、市販のフィルターによる白血球除去を行った結果、白血球除去率は2.9logであったが、感染血液のTSE感染性は42%の低下にとどまった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	今までに英国血漿ドナー9例がvCJDを発症し、計23回供血され、血液製剤原料として使用されたが、感染伝播の報告はない。
											HIV	Vox Sanguinis, 2004, 86, 171-177	抗体陽転前の血液サンプル中に存在するRNAが150/ml以下の場合、ミニプールNATでは適切に検地できない可能性がある。個別NATの場合RNAを確実に検地することが可能であることから、ミニプールNATの精度向上と個別NATの制度化が提案されている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	EMEA/CPMP/BWP/CPMP/5136/03, 21 Oct. 2004	vCJDの異常プリオンがヒト血漿中で存在したとしても血漿文革製剤の製造工程中で、感染性が減少することが報告されている。異常プリオンの除去効果を評価するためのガイドライン。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	AABB Weekly Report, 10(38), 2004/10	アメリカにおけるCJD伝播防止対策に関する報告。現行の規制を変更しないこと、CJD患者からの受血例342例については感染例はない。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ABC Newsletter, 2004, 41, 6-7	フランスで8例目のvCJD患者が確認され、10年間に10回の供血をしていたことがわかった。患者は存命中の若年者で、血漿分画製剤88/パッチに使用され、16パッチを回収、残りは使用又は廃棄されていた。
2005/01/24	40849	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	ブタコグ アルファ(活性型)(遺伝仕組換え)	エブタコグ アルファ(活性型)(遺伝仕組換え)	ブタコグ アルファ(活性型)(遺伝仕組換え)	該当しない	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/24	40850	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	ブタコグ アルファ(活性型)(遺伝仕組換え)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	ニュージーランド、米国又はカナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/24	40851	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	ブタコグ アルファ(活性型)(遺伝仕組換え)	ブタ膵臓由来トリプシン	ブタ膵臓(抽出物)	該当しない	製造工程	無し	無し	無し			
2004/01/24	40852	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	ブタコグ アルファ(活性型)(遺伝仕組換え)	ウシ新生仔血清	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/25	40853	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス毒素	A型ボツリヌス菌		有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/25	40854	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	人血清アルブミン	人血液	米国	添加物	無し	無し	無し			
2005/01/25	40855	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	ヒツジ(血液)	ヒツジ(血液)	米国、ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/25	40856	アラガン株式会社	A型ボツリヌス毒素	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、膵臓)	ウシ(心臓、血液、乳、骨格筋、膵臓)	米国、オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/25	40857	持田製薬株式会社	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ウサギ抗血清	ウサギ血液	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/25	40858	持田製薬株式会社	インターフェロン ベータ	インターフェロン ベータ	ヒト線維芽細胞	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/25	40859	持田製薬株式会社	インターフェロン アルファ(BALL-1)	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/25	40860	持田製薬株式会社	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ふ化鶏卵で増殖させたセンダイウイルス	ふ化鶏卵	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/25	40861	持田製薬株式会社	インターフェロン アルファ(BALL-1)	ハムスターの皮下で増殖させたヒトリンパ芽球細胞	ハムスター	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/25	40862	持田製薬株式会社	インターフェロン アルファ(BALL-1)	マウスハイブリドーマ由来モノクローナル抗体	マウス脾臓	英国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/26	40863	ZLBベ어링株式会社	ペブシン処理人免疫グロブリンG	ペブシン	ブタの胃	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/26	40864	ZLBベ어링株式会社	乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分	有り	有り	無し	HIV	Transfusion, 2004, 44(6), 929-933	米国における、ミニプールNAT実施後2例目のウインドウ期間中の献血者からのHIV伝播の報告。18歳のドナーから2人に感染した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/01/26	40865	財団法人化学及血清療法研究所	乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	日本	有効成分	有り	無し	無し	狂犬病	CDC MMWR, 53(Dispatch);1-3, 2004/07/01	アメリカで、同一ドナーから臓器移植を受けた3名(肝1、腎2)が死亡し、狂犬病ウイルス抗原の検出により狂犬病と診断された。ドナーとレシピエント2名の血液から抗体が検出され、臓器移植が感染に関与していると思われる。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Journal of Pathology, 2004; 203: 733-739	リンパ網内系の検体12,674(扁桃及び虫垂)のうち、虫垂3検体からプリオンタンパク質のリンパ網内系への蓄積を示した。
											重症急性性呼吸器症候群	Br J Ophthalmol, 2004, 88: 861-863	SARS感染初期にサンプリングされた涙液から、SARSコロナウイルスが検出された。
											重症急性性呼吸器症候群	Nature Medicine,10(4), 368-373, 2004/04/01	オランダの研究チームが新種のコロナウイルスHCov-NL63を同定した。感冒症状の原因となるが、重症肺炎までには至らない。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											ウエストナイルウイルス感染	CDC MMWR, 53(36); 842-844	2004年にアメリカのアリゾナ州で確認された輸血関連WNV感染の症例報告について。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	67歳日本人男性がFFP輸血によりE型肝炎に感染したことが、PCRの結果から示唆された。
											A型肝炎	Transfusion, 2004, 44, 1555-1561	献血後にA型肝炎を発症した供血者と供血者からの赤血球の輸血を受けた受血者について、RT-PCRを行ったところ、両者から検出されたHAV-RNA解析結果が同じであり、輸血によるHAV感染が証明された。
2005/01/26	40866	富士製薬工業株式会社	ヘパリンナトリウム注射液	ヘパリンナトリウム	ブタの腸粘膜	中国、ブラジル	有効成分	有り	無し	無し	インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/08/20	中国の獣医学研究所がトリインフルエンザA型(H5N1)によるブタへの初めての感染が確認されたと発表した。データが少なく、WHOは研究所に詳細な情報を求めた。
2005/01/26	40867	三菱ウェルファーマ株式会社	アプロチニン製剤	アプロチニン液	ウシ肺	米国、ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/26	40868	ゼリア新薬工業株式会社	結核菌熱水抽出物	結核菌熱水抽出物	Z-100原液	日本	有効成分	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/01/26	40869	ゼリア新薬工業株式会社	結核菌熱水抽出物	全卵液	全卵液	日本	製造工程	有り	無し	無し	インフルエンザ	Nature, 2004, 430, 209-213	1997年香港で流行したH5N1型の元株は、遺伝子再集合によりニワトリとアヒルに優勢なH5N1型となったと考えられる。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/09/28	タイでトリインフルエンザ(H5N1)のヒト-ヒト感染の疑い例が発生している。
											インフルエンザ	ProMED, 20041016-0020 (オランダ国立感染症疫学センター)	2003年オランダにおいて、家禽施設従業員・家族の59%からトリインフルエンザH7N7型に特異的な抗体が検出された。ヒト-ヒト感染が示唆された。
											インフルエンザ	WHO/CSR, 2004/10/29	最近の研究結果 (Natureに掲載)によると、アヒルもH5N1型感染能があり、アヒルが無症候でウイルスを排泄していると考えられた。
											インフルエンザ	厚生労働省健康局, 2004/12/22	H16年2月京都で起きたトリインフルエンザの集団発生事例において防疫作業従事者58名の抗体価調査を行った結果、抗体陽性となった5名は発症はしておらず、感染がおこったかどうかは断定できない。
2005/01/26	40870	日本オルガノン株式会社	ダナパロイドナトリウム	ダナパロイドナトリウム	ブタの小腸粘膜	ベルギー、ドイツ、フランス、スペイン、オーストリア、オランダ	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/26	40871	日本オルガノン株式会社	①下垂体性性腺刺激ホルモン ②胎盤性性腺刺激ホルモン	①下垂体性性腺刺激ホルモン、②胎盤性性腺刺激ホルモン	①更年期婦人尿、②妊婦尿	①・②オランダ	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/28	40872	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ヒトリンパ芽球細胞株	日本	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/28	40873	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	抗ハムスター胸腺細胞ウサギ抗血清	ウサギ血液	アメリカ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40874	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ふ化鶏卵(センダイウイルスを増殖)	鶏卵	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40875	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40876	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	抗IFN- α モノクローナル抗体	マウスハイブリドーマ	不明	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40877	大塚製薬株式会社	インターフェロンアルファ(BALL-1)	ハムスター(ヒトリンパ芽球細胞を皮下で増殖)	ハムスター	日本	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40878	アボットジャパン株式会社	パリビズマブ(遺伝子組換え)	パリビズマブ(遺伝子組換え)	-	ドイツ	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/28	40879	アボットジャパン株式会社	パリビズマブ(遺伝子組換え)	マウスミエロマ細胞	マウス培養細胞株	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40880	アボットジャパン株式会社	パリビズマブ(遺伝子組換え)	トランスフェリン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/01/28	40881	アボットジャパン株式会社	バリビズマブ(遺伝子組換え)	リポプロテイン	ウシ血液	米国	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40882	アボットジャパン株式会社	バリビズマブ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40883	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清	ウシ血清	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	神経系障害	ProMED, 20040609-0080, (BBC News, Medical.net, Veterinary record)	英国で幼若なウシの麻痺や死亡の原因となる原因不明の脳障害の事例があった。非跳躍病ではない神経好性ウイルス感染症の特徴を有する化膿性壊死性灰白脳脊髄炎は、過去10年間に21例報告されている。エンテロウイルスが病因として可能性が高く、人の健康への驚異となる可能性は低い。
2005/01/28	40884	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	ペプトン	ウマの脾臓、脛、ウシの心臓、脾臓及びブタのラード、ウオターをブタのパンクレアチン	米国、カナダ	製造工程	有り	無し	無し	神経系障害	ProMED, 20040609-0080, (BBC News, Medical.net, Veterinary record)	英国で幼若なウシの麻痺や死亡の原因となる原因不明の脳障害の事例があった。非跳躍病ではない神経好性ウイルス感染症の特徴を有する化膿性壊死性灰白脳脊髄炎は、過去10年間に21例報告されている。エンテロウイルスが病因として可能性が高く、人の健康への驚異となる可能性は低い。
2005/01/28	40885	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	D-ガラクトース	ウシの乳汁	米国	製造工程	有り	無し	無し	神経系障害	ProMED, 20040609-0080, (BBC News, Medical.net, Veterinary record)	英国で幼若なウシの麻痺や死亡の原因となる原因不明の脳障害の事例があった。非跳躍病ではない神経好性ウイルス感染症の特徴を有する化膿性壊死性灰白脳脊髄炎は、過去10年間に21例報告されている。エンテロウイルスが病因として可能性が高く、人の健康への驚異となる可能性は低い。
2005/01/28	40886	全薬工業株式会社	リツキシマブ(遺伝子組換え)	フェツイン	ウシの血清由来	カナダ、米国、ニュージーランド	製造工程	有り	無し	無し	神経系障害	ProMED, 20040609-0080, (BBC News, Medical.net, Veterinary record)	英国で幼若なウシの麻痺や死亡の原因となる原因不明の脳障害の事例があった。非跳躍病ではない神経好性ウイルス感染症の特徴を有する化膿性壊死性灰白脳脊髄炎は、過去10年間に21例報告されている。エンテロウイルスが病因として可能性が高く、人の健康への驚異となる可能性は低い。
2005/01/28	40887	ヤンセンファーマ株式会社	ムロモナブ-CD3	ムロモナブ-CD3	マウス腹水	アメリカ	有効成分	無し	無し	無し			
2005/01/28	40888	ヤンセンファーマ株式会社	ムロモナブ-CD3	ウシ胎仔血清	ウシ血液	アメリカ合衆国またはカナダ	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40889	ヤンセンファーマ株式会社	ムロモナブ-CD3	ウマ血清	ウマ血液	ニュージーランド	製造工程	無し	無し	無し			
2005/01/28	40890	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	遺伝子組換えチャイニーズハムスター卵巣細胞株	該当なし	有効成分	無し	有り	無し			

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
2005/01/28	40891	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相天性が一致した。
2005/01/28	40892	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ウシ血清アルブミン	ウシ血液	米国	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40893	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	アプロチニン	ウシ肺	ニュージーランド	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40894	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	インスリン(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ膵臓	米国	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40895	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-1)	ウシ血液	米国	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40896	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	培養補助剤(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用-2)	ウシ肝臓	米国又はカナダ	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40897	バクスター株式会社	ルリオクトコグアルファ(遺伝子組換え)	ウシ胎児血清(抗第Ⅷ因子モノクローナル抗体製造用)	ウシ血液	オーストラリア	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40898	バクスター株式会社	人血清アルブミン	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコードン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において同一性が一致した。
2005/01/28	40899	バクスター株式会社	人血清アルブミン	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	中国	製造工程	無し	有り	無し			
2005/01/28	40900	バクスター株式会社	活性化プロトロンビン複合体濃縮製剤	乾燥人血液凝固第Ⅷ因子阻害物質補正活性複合体	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において同一性が一致した。
2005/01/28	40901	バクスター株式会社	活性化プロトロンビン複合体濃縮製剤	ヘパリンナトリウム	ブタ腸	該当なし	添加物	無し	有り	無し			
2005/01/28	40902	バクスター株式会社	加熱人血漿たん白	人血清アルブミン	人血漿	米国	有効成分	有り	有り	無し	クロイツフェルト・ヤコブ病	The Lancet, 2004, 364, 527-529, 2004/08/27	イギリスの2例目の輸血によるvCJD感染例について、プリオン蛋白遺伝子(PRNP)のコドン129が、異型遺伝子であった。vCJD感染に対し感受性があるとされるPRNPのタイプが、メチニオン同型遺伝子に限定されないと考えられる。
											E型肝炎	Transfusion, 2004, 44(6), 934-940	北海道で、海外渡航歴のない患者が輸血によってHEVに感染した。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											E型肝炎	Journal of Gastroenterology and Hepatology, 2004, 19, 778-784	輸血を受けたことのある患者145人と健康人250人とを遡及調査し、50人の入院患者を対象に前向き調査を行った。前向き調査では、HEV-Ab陰性の被輸血患者22人中3人に輸血後HEV感染が生じた。
											E型肝炎	Journal of Medical Virology, 74(4), 563-572, 2004	血液透析を受けている患者416名から採取した血清検体と血液透析開始時に採血されていた血清検体について、HEV感染率を調査した。39名がHEV IgGAbを保有し、35名が血液透析開始時に陽性であった。残る4名のうち1名は輸血を受けており、供血者の血清検体からHEV-RNAが検出され、患者から採取したものと検索範囲において相同性が一致した。
2005/02/03	40903	株式会社日本生物製剤	胎盤加水分解物	胎盤加水分解物	ヒト胎盤	日本	有効成分	有り			E型肝炎	WHO/CSR, 2004/9/8	スーダンのある地域の医療機関からE型肝炎と疑われる3753例と死亡症例55例が報告された。
											E型肝炎	WHO/CSR, 2004/9/6	チャドの難民キャンプと近隣の自治体からE型肝炎が疑われる症例1077例と死亡35例が報告された。
											E型肝炎	WHO/WER, 2004/9/3	スーダンのある地域の医療機関からE型肝炎と疑われる2431例と死亡症例41例が報告された。
											E型肝炎	WHO/WER, 2004/9/3	チャドでE型肝炎が疑われる症例959例と死亡30例が報告された。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0326	vCJD確定診断死亡例が104例となった。
											A型肝炎	CDR Weekly, 14(39), 2004/09/23	エジプトへ旅行したドイツ人において22例のA型肝炎が報告された。
											A型肝炎	Department of Health, press releases notices 2004/0326	エジプトへ旅行したドイツ人においてA型肝炎がアウトブレイクした。
											E型肝炎	WHO/CSR, 2004/09/15	チャドの難民キャンプと近隣の自治体からE型肝炎が疑われる症例が報告された。
											E型肝炎	WHO/WER, 2004/9/10	チャドの難民キャンプと近隣の自治体からE型肝炎が疑われる症例が報告された。
											A型肝炎	ProMED, 20040912-0010	ドイツでの海外渡航関連A型肝炎患者発生について
											クロイツフェルト・ヤコブ病	ProMED, 20040910-0060	英国保健省は9/6に報告があったCJD患者数を公開した。
											E型肝炎	WHO/WER, 2004/9/17	スーダンのある地域の医療機関からE型肝炎と疑われる3757例と死亡症例55例が報告された。

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文献	症例	適正使用措置	感染症(PT)	出典	概要
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0341	血液製剤を介したvCJDの伝播に関して保健相から発表があった。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	Department of Health, press releases notices 2004/0342	血液製剤を介したvCJDの伝播に関して保健相から発表があった。
											A型肝炎	英HPA-CDR Weekl	エジプトへの旅行歴のある6例のA型肝炎感染が英イングランドおよびウェールズにおいて8月末～9月末に報告されている。
											C型肝炎	英HPA-CDR Weekly	CDSCにC型肝炎感染1711例が報告されたことなど記載。
											B型肝炎	英HPA-CDR Weekly	CDSCに急性B型肝炎感染報告
											A型肝炎	英HPA-CDR Weekly	CDSCにA型肝炎の検査報告がされている。
											クロイツフェルト・ヤコブ病	英SCIEH	スコットランド保健相は血漿製剤による治療を介したvCJD感染因子の伝播の可能性に関連した患者通知についてのアウトラインの詳細を説明。
											A型肝炎	proMed	小児13名を含むロシアのPavlo-Fyodorovki村住民16名が、A型肝炎ウイルス感染と診断が確定
											E型肝炎	WHO	チャドのGoz AmerおよびDjabal難民キャンプおよび近隣の複数の村から、E型肝炎の疑い
											E型肝炎	WHO	スーダンのGreater Darfur地域にある複数の医療機関から、E型肝炎の疑い例および死亡例報告された。
											A型肝炎	英HPA-CDR Weekly	ロンドン南東部の男性と性交渉を持つ男性におけるA型肝炎のアウトブレイクが確認された。
											A型肝炎	Health Canada	ロンドン南東部の男性同性愛者におけるA型肝炎のアウトブレイクが確認された。
											HIV感染	英SCIEH	スコットランドでHIV検査研究所から感染症例105例が報告